



JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

# 決算説明会

— 2016年3月期 —

株式会社 J S P

# 目次

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

1. 2016年3月期決算概要（2015年度）
2. 2017年3月期決算見通し（2016年度見通し）
3. 2016年3月期決算補足（2015年度補足）
4. 新工場・開発製品・新規グレード紹介

# 決算概況

2015年度

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

項目	2014年度 実績	2015年度 業績予想 (2014.10.30公表)	2015年度 実績	前年比	公表比
売上高	116,923	115,500	114,904	98%	99%
営業利益	5,667	8,000	9,278	164%	116%
経常利益	6,044	8,000	9,101	151%	114%
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,039	5,200	5,914	146%	114%

- 為替：121.0円/\$ 133.7円/€ (2014年度 106.5円/\$ 140.3円/€) 最高益
- 原油価格（ドバイ）：\$45.6/バレル (2014年度 \$83.6 /バレル)
- 国内：売上高減少：製品価格改定、景気回復の遅れによる需要縮小  
営業利益増加：スプレッド回復、償却方法変更で減価償却費797百万円減少
- 海外：売上高増加：欧米・中国の販売が好調、全体の数量も増加  
営業利益増加：数量増加、スプレッド拡大、円安効果（外貨円換算額増加）



# 押出事業

2015年度

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

項目	2014年度 実績	2015年度 実績	前年比
売上高	39,915	38,289	96%
営業利益	1,348	2,755	204%

景気回復の遅れで売上減少、スプレッド回復・減価償却費減少で利益改善

- 償却方法変更で減価償却費487百万円減少
- 産業用包材「ミラマット」高付加価値製品の販売が堅調で売上増
- 産業用包材「キャプロン」自動車部品包材の新規採用で売上増
- 産業用包材「Pボード」家電市場の低迷により売上減
- 食品包材「スチレンペーパー」トレー減少・製品価格改定の影響により売上減
- 広告用・折材「ミラボード」高付加価値製品の販売増により売上増
- 建築・土木「ミラフォーム」戸建住宅・マンション着工件数減少で売上減  
土木分野は公共事業が低調のため売上減

# ビーズ事業

2015年度

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

項目	2014年度 実績	2015年度 実績	前年比
売上高	70,340	70,865	101%
営業利益	4,854	7,436	153%

国内：需要減・価格対応で売上減 欧米・中国：販売好調&円安で増収増益

- 償却方法変更で減価償却費292百万円減少
- 自動車用部品、家電緩衝材、グラウンド基礎材の「ピーブロック」（英名ARPRO）  
日本：自動車・IT家電メーカー向け需要減、製品価格改定の影響で売上減  
北米：自動車部品の需要増、競技用グラウンド基礎緩衝材・敷石用下地材の販売が好調  
南米：経済低迷による自動車販売台数の落込み、レアル安の影響で売上減  
欧州：自動車部品の需要増で販売数量は増加、製品価格改定・ユーロ安で売上減  
中国・アジア：中国・シンガポールは売上増、韓国・台湾は売上減
- 魚箱、家電製品緩衝材、住宅用断熱材用途の「スチロディア」  
水産・農業の需要回復、家電・建材・土木が低調、製品価格改定の影響で売上減
- ハイブリッド成形品「スーパーブロー」新規フロート用途で売上増

# その他

2015年度

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

項目	2014年度 実績	2015年度 実績	前年比
売上高	6,667	5,749	86%
営業利益	59	17	30%

国内：円安を背景に国内生産回帰で売上増、中国：売上減

- 償却方法変更で減価償却費3百万円減少
- 国内一般包材  
円安を背景に国内生産回帰による自動車・液晶・光学製品・一般工業部品  
向け梱包材需要の増加もあり売上増
- 中国一般包材  
液晶テレビ向けの梱包材の採用中止により売上減

# 目次

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

1. 2016年3月期決算概要（2015年度）
2. 2017年3月期決算見通し（2016年度見通し）
3. 2016年3月期決算補足（2015年度補足）
4. 新工場・開発製品・新規グレード紹介

# 次期見通し

2016年度見通し

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

項目	2015年度 実績	2016年度 見通し	前年比
売上高	114,904	113,000	98%
営業利益	9,278	9,000	97%
経常利益	9,101	9,100	100%
親会社株主に帰属 する当期純利益	5,914	6,200	105%

- 為替：110円/\$ 125円/€ (2015年度 121.0円/\$ 133.7円/€)
- 原油価格（ドバイ）：\$ 40/バーレル (2015年度 \$ 45.6/バーレル)
- 国内：独自技術に基づいた差異化製品の売上増  
高断熱材、液晶パネル輸送用緩衝材の拡販
- 海外：販売数量は前年比2桁増  
欧米・中国で自動車部品採用拡大、中国・タイ新工場稼動で増販
- 配当：1株当たりの配当金（予想）年間40円



# 業績の推移と見通し

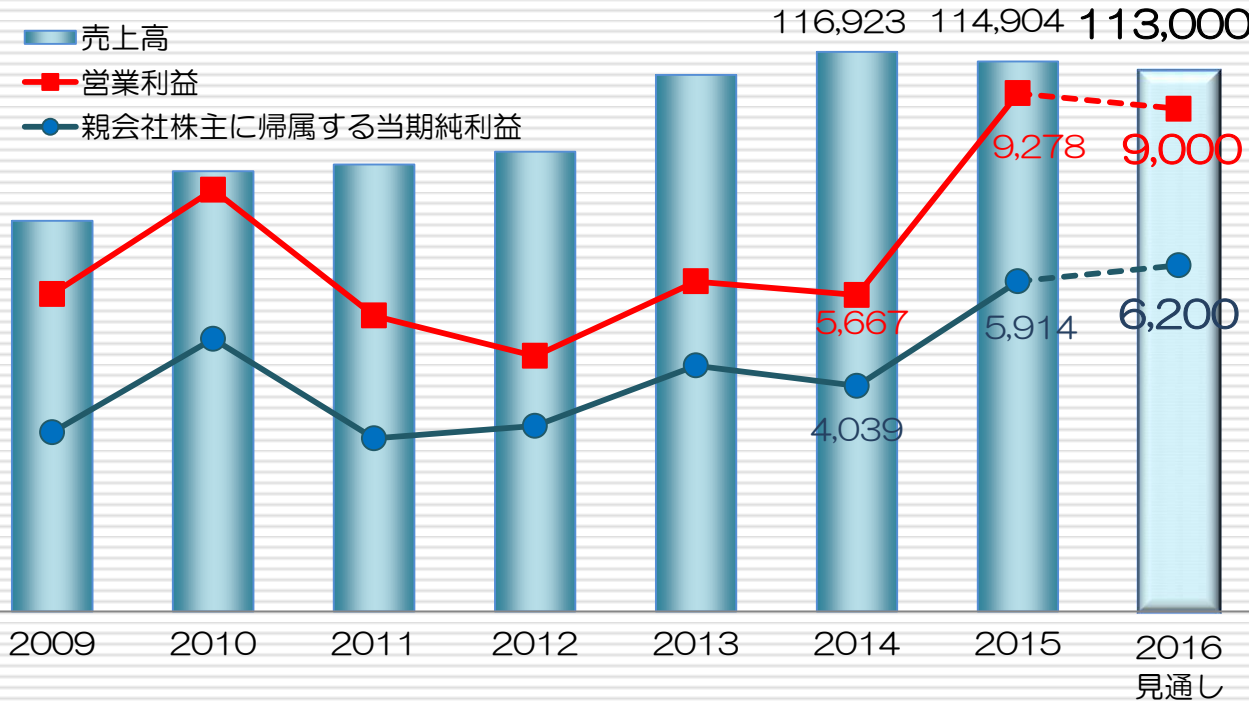
2016年度見通し

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

● 売上高	113,000	△1.7%
● 営業利益	9,000	△3.0%
● 経常利益	9,100	△0.0%
● 最終利益	6,200	+4.8%

数量 +5.5%  
売上高 △1.7%  
(円高・価格対応)



- 国内：減収・減益  
数量増、価格対応
- 海外：減収・増益  
数量2桁増、円高

『前提条件』  
( ) は2015年度実績  
為替  
110円/\$ (121.0円)  
125円/€ (133.7円)  
原油価格 (ドバイ)  
\$40/バレル (\$45.6)

# 押出事業

2016年度見通し

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

項目	2015年度 実績	2016年度 見通し	前年比
売上高	38,289	37,904	99%
営業利益	2,755	2,514	91%

独自技術に基づいた差異化製品「高断熱材」「液晶パネル輸送用緩衝材」の拡販



ミラフォームH  
ウォールブロック

数量：前年比107%

- 高断熱材の拡販
- 東京五輪で公共事業増加



永久帯電防止  
ミラマット  
エース

数量：前年比103%

- 液晶パネル輸送緩衝材の拡販
- 海外市場を視野に！



スチレン  
ペーパー

数量：前年並

- 耐熱食品容器の拡販
- フィルム木目模様製品の拡販

# ビーズ事業

2016年度見通し

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

項目	2015年度 実績	2016年度 見通し	前年比
売上高	70,865	69,016	97%
営業利益	7,436	7,391	99%

ピーブロック：拠点拡大・車部品採用拡大、スチロダイア：機能製品の拡販



ピーブロック  
(英名ARPRO)  
海外拠点拡大  
車部品採用拡大

数量＝前年比111% (円高で売上減少)

- 欧州・中国で10%以上の需要増加
- 自動車の新規部品の採用拡大 (シート等)
- 新製品・新用途開拓による新需要取込み



スチロダイア  
機能性グレード拡販  
他部門との連携強化

数量＝前年比103%

- 機能性グレード製品の拡販  
「クリアポール」「ヒートポールGR」
- 他部門との生産・販売の連携強化

# セグメント別計画

2016年度見通し

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

	2015年度実績		2016年度見通し		2015年度比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上	利益
押出事業	38,289	2,755	37,904	2,514	99%	91%
ビーズ事業	70,865	7,436	69,016	7,391	97%	99%
その他	5,749	17	6,080	76	106%	447%
計	114,904	10,210	113,000	9,981	98%	98%
調整額	—	△931	—	△981	—	—
合計	114,904	9,278	113,000	9,000	98%	97%

●設備投資額 約 8,400百万円 (増産3,000百万円、維持5,400百万円)

●減価償却費 約 5,120百万円

# 目次

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

1. 2016年3月期決算概要（2015年度）
2. 2017年3月期決算見通し（2016年度見通し）
3. 2016年3月期決算補足（2015年度補足）
4. 新工場・開発製品・新規グレード紹介

# 経営成績

2015年度補足

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

単位は百万円、(%)は対前期増減率

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益
2015年度	114,904 (△1.7%)	9,278 (63.7%)	9,101 (50.6%)	5,914 (46.4%)
2014年度	116,923 (4.3%)	5,667 (△4.1%)	6,044 (△7.1%)	4,039 (△8.3%)

包括利益 : 2015年度 3,280百万円 2014年度 8,658百万円

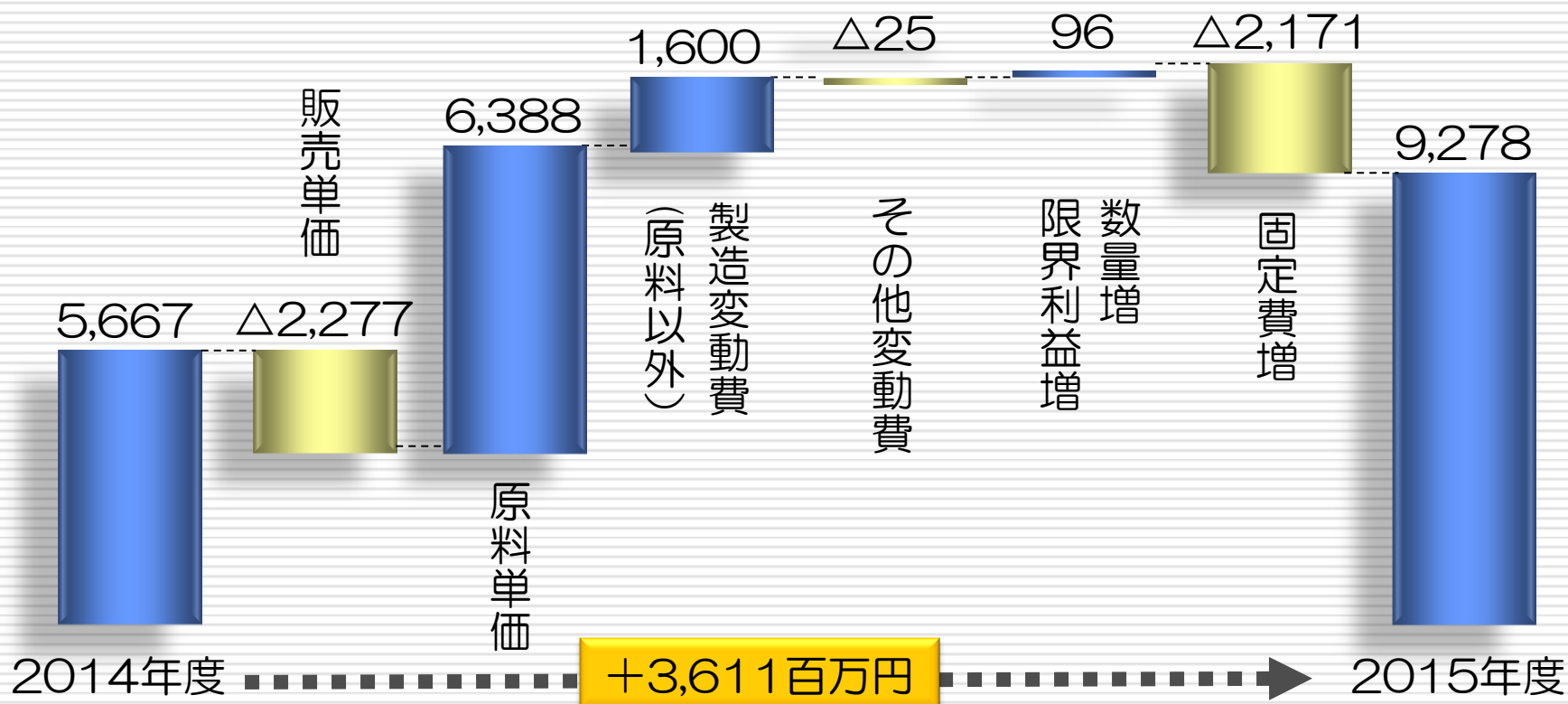
	1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
2015年度	198円40銭	8.9%	7.9%	8.1%
2014年度	135円50銭	6.5%	5.4%	4.8%

# 営業利益の増減要因

2015年度補足

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)



# 営業外損益・特別損益

2015年度補足

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

## 営業外損益

科目	2014年度	2015年度
受取利息	240	245
為替差益	13	—
その他	404	416
<b>営業外収益合計</b>	<b>658</b>	<b>661</b>
支払利息	191	155
為替差損	—	493
その他	89	190
<b>営業外費用合計</b>	<b>280</b>	<b>839</b>

## 特別損益

科目	2014年度	2015年度
固定資産売却益	9	14
投資有価証券売却益	30	—
補助金収入	—	301
<b>特別利益合計</b>	<b>40</b>	<b>315</b>
固定資産売却損	1	8
固定資産除却損	38	94
減損損失	—	21
投資有価証券評価損	40	—
事業構造改善費用	—	541
事務所移転費用	3	—
<b>特別損失合計</b>	<b>84</b>	<b>664</b>



# 財政状態

2015年度補足

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
2015年度末	115,136	72,497	59.0%	2,277円32銭
2014年度末	116,717	70,352	56.0%	2,190円61銭

(参考) 自己資本 2015年度末 67,890百万円 2014年度末 65,307百万円

# 貸借対照表

2015年度補足

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

	科 目	2014年度末	2015年度末	増減額
資産の部	流動資産	64,106	62,672	△1,434
	固定資産	52,611	52,464	△147
	資産合計	116,717	115,136	△1,581
負債の部	流動負債	33,460	31,894	△1,566
	固定負債	12,905	10,744	△2,160
純資産の部	株主資本	62,409	67,420	5,011
	その他包括利益累計額	2,898	469	△2,428
	非支配株主持分	5,044	4,607	△437
	負債純資産合計	116,717	115,136	△1,581

# 純資産の部

2015年度補足

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)

科 目	2014年度末	2015年度末	増減額
資本金	10,128	10,128	—
資本剰余金	13,405	13,405	—
利益剰余金	40,253	45,267	5,014
自己株式	△1,378	△1,380	△2
株主資本合計	62,409	67,420	5,011
その他有価証券評価差額金	269	252	△16
為替換算調整勘定	2,348	68	△2,279
退職給付に係る調整累計額	281	148	△132
その他包括利益累計額	2,898	469	△2,428
非支配株主持分	5,044	4,607	△437
純資産合計	70,352	72,497	2,145

# キャッシュフロー

## 設備投資・減価償却・研究開発

2015年度補足

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

### キャッシュフロー

(単位：百万円)

	営業活動による キャッシュフロー	投資活動による キャッシュフロー	財務活動による キャッシュフロー	現金及び現金 同等物の残高
2015年度	13,849	△6,001	△5,907	10,295
2014年度	8,289	△8,029	1,156	8,893

### 設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位：百万円)

	設備投資額	減価償却費	研究開発費
2015年度	6,341	4,903	2,034
2014年度	7,575	5,327	2,023

(設備投資額はキャッシュベースであります。)

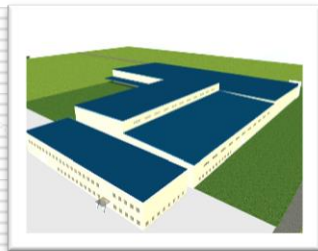
# 目次

1. 2016年3月期決算概要（2015年度）
2. 2017年3月期決算見通し（2016年度見通し）
3. 2016年3月期決算補足（2015年度補足）
4. 新工場・開発製品・新規グレード紹介

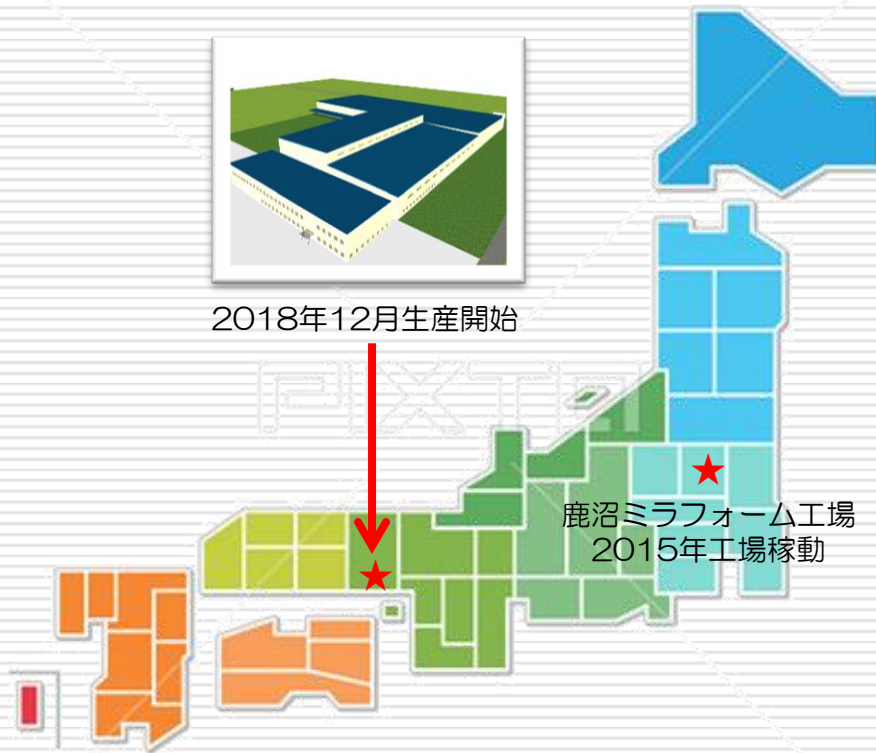
# 新工場建設①

中部・西日本地区  
ミラフォーム工場建設  
JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

## 中部・西日本地区 発泡ポリスチレン押出ボード工場 「ミラフォーム」



2018年12月生産開始



### 【背景】

- 2020年省エネルギー基準への適応義務化
- 東西供給体制の構築
- 高断熱材ミラフォームへ生産体制の構築
- 製品性能の向上、効率的な生産体制を実現

### 【新工場の概要】

- (1) 所在地：兵庫県たつの市（現工場に隣接）
- (2) 事業内容：ミラフォーム生産、二次加工
- (3) 総投資額：約40億円
- (4) 敷地面積：36,500m<sup>2</sup>
- (5) 建築面積：22,400m<sup>2</sup>
- (6) 生産開始：2018年12月（予定）

# 新工場建設②

武漢工場建設

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

## 中国武漢 発泡ポリプロピレンビーズ工場 「ピーブロック」



中国全体 生産能力24,000トンへ

### 【背景】

- 富裕層が沿岸部から内陸部にも増加
- 自動車生産台数の増加
- 環境汚染の深刻化から車体の軽量化が進む

### 【新会社の概要】

- (1) 社名 : 杰斯比塑料（武漢）有限公司
- (2) 所在地 : 中華人民共和国「武漢経済技術開発区」
- (3) 事業内容 : 発泡ポリプロピレンビーズの製造及び販売
- (4) 総投資額 : 約12億円
- (5) 敷地面積 : 21,000㎡
- (6) 建築面積 : 7,920㎡
- (7) 生産開始 : 2017年1月（予定）
- (8) 年間生産能力 : 3,000トン

# 新工場建設③

長春工場建設

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

## 中国長春 発泡ポリプロピレンビーズ工場 「ピーブロック」



### 【背景】

- 東北・華北エリアにおける供給体制の構築
- 需要地に密接した生販体制による更なるシェア拡大

### 【新工場の概要】

- (1) 社名 : 杰斯比塑料(無錫)有限公司 長春分公司
- (2) 所在地 : 中華人民共和国「長春経済技術開発区」
- (3) 事業内容 : 発泡ポリプロピレンビーズの製造及び販売
- (4) 総投資額 : 約1億円
- (5) 生産開始 : 2016年6月(予定)
- (6) 年間生産能力 : 1,200トン



# 新工場稼動

タイ工場

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

## タイ 発泡ポリプロピレンビーズ工場 「ピーブロック」



### 【背景】

- 高倍率品の需要増
- 安定供給、営業力・技術サポートの強化

### 【新会社の概要】

- (1) 社名 : JSP Foam Products (Thailand) Co., Ltd.
- (2) 所在地 : タイ王国「アジア工業団地」  
(バンコク市内東約30km)
- (3) 事業内容 : 発泡ポリプロピレンビーズの製造及び販売、  
技術サポート
- (4) 総投資額 : 約6億円
- (5) 敷地面積 : 13,600m<sup>2</sup>
- (6) 建築面積 : 3,500m<sup>2</sup>
- (7) 生産開始 : 2016年3月
- (8) 年間生産能力 : 1,800トン

# 能力増強

チェコ工場

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

## チェコ 発泡ポリプロピレンビーズ工場 「ピーブロック」



欧州全体 生産能力26,000トンへ

チェコの生産能力倍増

【背景】

- 自動車生産台数は堅調に推移
- 自動車部品用途が拡大、リアシートクッションなど
- HVAC用途にも展開
- 製品の差異化戦略
- 営業力・技術サポートの差異化戦略

HVAC : Heating, Ventilation, and Air Conditioning  
(暖房、換気、および空調)

# 新規採用案件

トランクルーム  
リアシートクッション

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

## トヨタ自動車の新型プリウスに「ピーブロック」が採用



- 新型プリウスのスペアタイヤ収納部及びツールボックスに、「ピーブロック」が採用
- リアシートにも採用予定

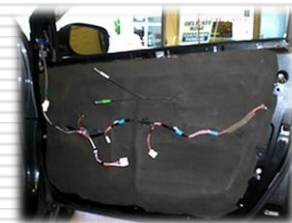
# 開発製品①

integxion  
JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

北米 電子線架橋発泡ポリエチレンシート「integxion」（インテグション）  
2016年10月 能力増強、高機能製品投入で収益事業に育成



医療用テープ



自動車ドアシールド

## 【特徴】

- 均一で微細な気泡構造、美しい外観
- 優れた弾力性、緩衝性
- 独立気泡のため耐水性、断熱性に優れている
- 軽量で浮力に優れる
- 耐油性、耐薬品性



ラミネート床下材



フレキソ印刷  
マウンティングシート



ミラーガスケット

# 開発製品②

xealogic  
JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

## 多層化技術を用いた高性能発泡ポリエチレンシート「xealogic」 (シーロジック)



(市場調査中)

### 【特徴】

- 多層化技術を用いた高性能発泡シート
- 優れた耐油性、耐薬品性

### 【用途】

- ◎ ボトルキャップパッキン材
- ◎ 各種容器パッキン材

### 各種樹脂・金属・無機素材と発泡体との複合体「ACTech」（ACテック）



用途開拓中

#### 【ACTech とは】

当社独自の発泡体と熱硬化性樹脂を含む各種樹脂及び金属や無機素材を、当社独自技術で複合化させた複合部材製品群の総称

#### 【特徴】

- 発泡体の持つ圧倒的な軽量性、断熱性
- 複合化素材の強度、剛性
- 今迄に無い画期的な複合部材

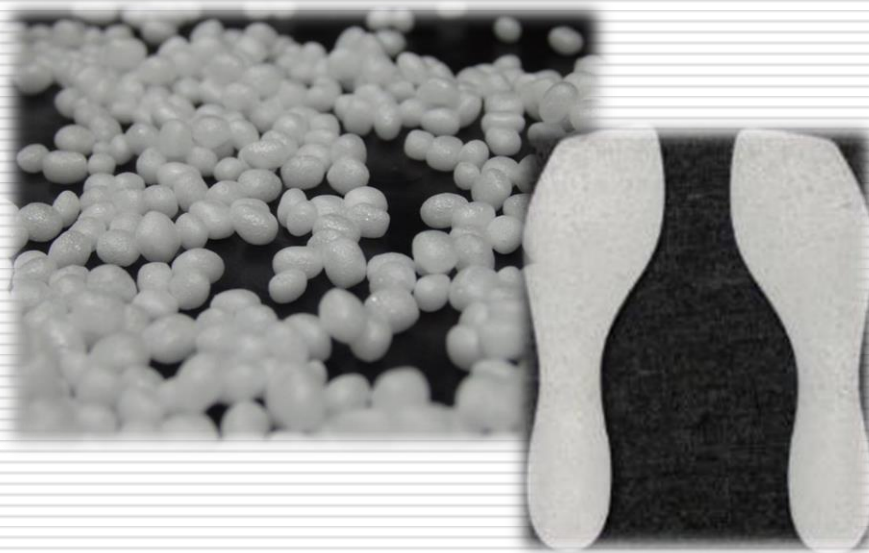
# 開発製品④

柔軟性発泡体

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

柔軟性、衝撃吸収性、反発性、耐久性などの性能をもつ新たな発泡体

シューズメーカーの要求性能に応じた発泡体を開発



## 【特徴】

- 柔軟性
- 衝撃吸収性
- 反発性
- 耐久性

## 【用途】

- ◎スポーツシューズ
- ◎スポーツ用プロテクター
- ◎自動車部品
- ◎床材など



# 新規グレード

エレンポールNEO

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

ポリマーアロイ、発泡剤含浸技術により開発した  
ポリエチレン/ポリスチレン共重合ビーズ「エレンポールNEO」



## 【特徴】

### ●柔軟性・耐衝撃性

発泡ポリスチレン、ハイインパクト系発泡ポリスチレンより柔らかく、高い曲げ弾性を持っており、衝撃吸収材や重量物等の緩衝材に適しています

### ●成形性

発泡性ポリスチレンの成形設備を使って予備発泡、成形加工を行うことができます

### ●耐油性

## 【用途】

- ◎機械部品、電子部品などのクッション材、通い箱
- ◎TVなどのAV機器、家電製品のクッション材
- ◎自動車バンパーコア材、嵩上げ材、衝撃吸収材



---

# 株式会社 J S P

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

(ご注意)

本資料の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

お問合せ Tel 03-6212-6306 広報 IR室